



防犯対策について

稲浦 巖

問 現在実施している防犯対策の状況は。

答 週3、4日程度で小学一年生の下校時間帯に通学路や事故発生場所等の市内各所をパトロールしている。

振り込め詐欺などの特殊詐欺の電話が複数あった場合には、飯能警察署から情報提供を受け、当該地域を中心にパトロールを実施している。また、被害を未然に防ぐために市ホームページ、ツイッター、防災行政無線線を利用して市民に注意喚起を促している。

問 児童生徒に対する不審な接触などには、どのように対応しているか。

答 市内で不審な声掛け等があった際には、飯能警察署や学校からの情報提供をもとに、教育委員会のメール配信システムにより保護者に一斉に周知するとともに、市ホー

ムページで注意喚起を行っている。

なお、平常時においても、学校現場では、小学生には防犯ブザーを身に着けさせ、なるべく一人にならないことを指導し、中学生には自らが危険を察知し、未然に回避する力を身に付けることを指導している。さらに、PTA、地域住民、ボランティア等の協力により、「あんしんまちづくり学校パトロール隊」が組織され、児童生徒の登下校の見守りを実施している。

問 防犯カメラ設置等の予定は。

答 今年度、市内3カ所に設置する予定で、これで合計4カ所の設置となり、犯罪抑止に効果があるものと考ええる。

問 横手台自治会では、新型コロナウイルス感染症の影響で予定の事業が

中止となり、自治会予算に残額が見込めたことから、繰り越しになる予算で地区内に防犯カメラを4台設置している。このように繰り越しになる予算を防犯カメラ設置などの地区の安全対策に使用するよう、市として各自治会に提案することはできないか。

答 安全なまちづくりの取り組み事例として各自治会に紹介し、今後の研究課題にしたい。



横手台地区に設置された防犯カメラ



市長行政報告

抜粋

市制施行30周年記念式典について

日高市は、平成3年10月1日に埼玉県で42番目の市として市制を施行し、昨年に市制施行30周年を迎えました。

市制施行から30年を経た現在も、日和田山や巾着田、高麗川の清流に代表される豊かな自然と共生し、高麗郡建郡1300年の歴史ある郷土を育んでいます。これもひとえに、市民の皆様をはじめ、多くの方々の御尽力の賜物であります。

11月13日に開催しました市制施行30周年記念式典につきましては、本来であれば、大勢の方々とお集まりで一緒にお祝いさせていただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむなく参加者の人数を限らせていただき、市民の皆様には、式典の様をご覧いただけるよう、インターネットによるライブ配信を行いました。

式典においては、「タイムカプセルの開封」、「健幸のま

ち宣言」、「記念マンホール蓋の披露」などを実施しました。この30周年の節目を契機に、これからも豊かな自然と悠久の歴史を後世に引き継ぎ、さらなる飛躍に向け、市民の皆様とともに「日高市を愛する心」を大切にすたまちづくりを進めてまいります。

第3次埼玉西部地域まちづくり構想・計画について

日高市、所沢市、飯能市、狭山市及び入間市の5市で構成する埼玉西部地域まちづくり協議会、いわゆるダイアプランにおいて、「第3次埼玉西部地域まちづくり構想・計画」を策定し、5市で統一して令和4年1月14日に公表いたしました。

近年の生産年齢人口の減少や高齢者人口の増加、公共施設の老朽化等により、地方自治体の財政状況は厳しさを増す一方です。今後、埼玉県西部地域まちづくり構想・計画に基づき、5市の連携をより強固にしていくとともに、広域的な人の流れに注視し、日高市だけでなく、圏域全体で課題に取り組み、魅力あるまちづくりを進めてまいります。